

学生大使 実施報告書

氏名：曾根渚央

学部・学科（コース）・学年：工学部・高分子有機材料工学科・4年

派遣先大学：ラトビア大学

派遣期間：2024/09/01～2024/09/14

1 日本語教室での活動内容

授業時間 平日2回 [16:10～17:40 ・ 18:00～19:00]

場所 ラトビア大学内の小さな教室と中庭

持ち物 [通常]

ホワイトボード・ノート・筆記用具

・事前に準備した授業のネタをたくさん書き出しまとめた物

[最後の授業]

浴衣・習字道具・折り紙・日本の様々なお菓子

日本語クラスには社会人と大学生が参加し、日本語能力は日本語に初めて触れる人や日本に留学したことがある人など様々なレベルの人達が集まってくれた。

授業内容と場所はだまかに文法や文字などを学びたい人は教室、会話能力を上達させたい人や日本語を学ぶ事より日本に興味がある人は中庭の2つに分けた。

[教室の授業]

ホワイトボードやノートを使い挨拶・自己紹介・SVOや5W1Hを利用して文の仕組みの説明や例文作成を行った。日本人の方が人数は少ないので2対1の授業や教室にある大きなホワイトボードを使った全体授業を行った。

[中庭の授業]

ここに集まるメンバーは日本へ留学経験があったり日本語を上手に話せたり、日本について詳しい人が多いので、逆にラトビアのことについてたくさん質問する授業を設けた。宗教、普段食べる物、学校生活、おすすめのお土産、趣味、日本に興味を持ったきっかけなど様々な事を質問し、日本と比較した。違うことはもちろん多いが同じ部分も想像よりあったのでこの授業は特に楽しかった。また、日本語のことわざを教えたとき半分がラトビアにもあるものだったので驚いた。

[最後の授業]

最後の授業は日本人メンバーで持ち寄った道具で日本文化を紹介し、日本食・折り紙・習字・浴衣を参加者のみんなに体験してもらった。浴衣は女性にとっても喜んでもらえ、習字は男性社会人の方々から人気だった。日本のお菓子をたくさん持って行ったがとても人気だったのですべてなくなった。

2 日本語教室以外での交流活動

私は日本語授業に参加者の中で特に2人と日本の友達くらい仲良くなった。

1 人目の女の子とは初回の授業で出会いお互いに興味があったので次の日の授業前にご飯を食べて散歩しようと約束をし、それをきっかけに仲良くなった。お互いの共通言語は英語のみだったので拙い英語と翻訳を使いながら会話をした。彼女も英語が得意ではないらしいのでお互いに「これは英語でなんていうのだろう」と言いながら会話をするのが楽しかった。2週間を通して家族の事、バイトの事、将来の事からくだらないことまでいろいろな話をした。彼女は車を持っていて休日にベンツピルスとクルディガに連れて行ってもらった。滝上を歩くことや、美しいバルト海に入ることができて楽しく良い経験になった。また、私だけはあるが彼女のお家に招待してもらえた。ママさんの料理を食べ、妹さんとナルトについて語り合うのが楽しかった。彼女の地元は湖や森がとても美しくラトビアで最も好きな場所になった。その他にルンダーレ宮殿にも連れて行ってもらった。今後ラトビア派遣されるお城が好きな女の子は是非行って欲しいと思う。

2 人目の男の子とは3回目くらいの授業で仲良くなった。彼は英語をととても流暢に話し、アニメが大好きなので日本語を聞き取れるが話す事は苦手なので私にとって英語を聞き取ることの練習になった。彼には休日に動物園と森のアスレチックに連れて行ってもらった。ラトビアの木は背がとても高いのでアスレチックの難易度はとても高く感じた。また、オペラハウスやユーゲンシュティール建築街へ連れて行ってもらった。オペラを聴くのは初めてだったので良い経験になった。

しかし、最後の授業で仲良くなった子にもっとあなたと仲良くなりたかったと言われ、嬉しいという気持ちと同時に少し悔しい気持ちが湧いた。授業後の夕食はいろいろな人と食べに行ったが、それ以外の時間は2人と過ごしたのもっといろいろな人と関わろうとすればよかったのかなとも思った。しかし、それ開け長い時間をかけたから2人と深い絆を築けたので、後悔はしていない。

この3人とは今でも連絡を取り合う仲になりこの関係をずっと大切にしていきたいと思う。

3 参加目標への達成度と努力した内容

参加目標は3つ掲げた。

1つ目は長く続くような友達を作ること。

2つ目は日本の文化を紹介すること。

3つ目はラトビアの文化を学ぶこと。

全て達成できたと思う。しかし、2つ目に関して私は理系なので現地の理系の方と自分の研究内容について紹介する時にある程度の英単語しか覚えていなかったのもっと自分のテーマについて説明できる英語力をつけておけばよかったと感じた。また、全体的に英語力が低いので日本に帰ったら英語の勉強をしようと思った。

4 プログラムに参加した感想

このプログラムはコロナで中止になっており今回が6年ぶりの派遣となった。最初は授業に

【学生大使 実施報告書】

参加してくれる人がどれくらい集まってくれるのか不安だったが、想像より参加者がいて安心した。また、この留学プログラムは日本に興味がある人が授業に参加してくれるので、日本人としてとても歓迎してもらえてうれしかった。

初めての海外だったので、今まで当たり前と思っていたことがそうではないと身をもって体験することができてよい経験になった。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

今回のプログラムで英語でのコミュニケーションへの抵抗がとて低くなり、英語の勉強へのモチベーションになった。私のバイト先には外国に方がよくいらっしゃるのでその機会を生かし英会話の練習を少しずつしていこうと思う。また、ラトビアの友達と次に会ったとき英語で自分の言いたいことをいえるようにと就職活動のために英語の勉強を頑張ろうと思った。



最後の授業

【学生大使 実施報告書】



友達の家族



オペラハウス

【学生大使 実施報告書】



クルディガ